

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム 総会（第8回）

議 事 要 旨

1. 開催概要

- ・日時 : 令和3年3月16日（火）13:30～17:00
- ・会場 : 平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館
- ・出席者 : 会員19名 ※代理出席、遠隔参加含む、オブザーバー除く

2. 議決事項

1) 実験の進捗について

- ◆ 各選定事業者から今年度の実験結果について説明し、質疑を行った。
- ◆ 総会でも出された意見内容・議論結果を踏まえ、今年度の実証実験結果のとりまとめを行うこと、および実装に向けた検討を行っていくことが承認された。

2) ガイドラインの更新について

- ◆ 今年度の取組を通じた知見を踏まえて更新した「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ実施ガイドライン Ver2.0」について承認された。

3) 今後のコンソーシアムの進め方について

- ◆ 令和3年度の参画事業者の募集を実施し、6月頃に開催する次回の評価選定委員会・コンソーシアム総会を通して、次年度の実験内容を決定する方針が承認された。

3. 説明に対する質問・意見

1) テーマ①（PerceptIn Japan、NTT ドコモ、凸版印刷）

- ◆ PerceptIn Japan に対して、音声呼出機能の精度や実用化可能性、自動運転車両の混在空間での走行を想定した際の課題に関する質問があった。
- ◆ 凸版印刷に対して、VR 歴史体験サービスのダウンロードアプリ化ができないかという意見が挙げられた。

2) テーマ②（ジャパン・インフラ・ウェイマーク、NTT コムウェア、国際航業）

- ◆ NTT コムウェアに対して、AI 解析で判定可能な事例の詳細や、今後の解析精度向上の見込み等についての質問があった。また、解析精度が向上できれば画期的な管理につながるという意見が挙げられた。

- ◆ NTT コムウェアおよびジャパン・インフラ・ウェイマークに対して、4足歩行ロボットおよびドローンの安全性に関する質問があった。
- ◆ NTT コムウェアに対して、4足歩行ロボットが園内の案内ガイド等として活用できるのではないかという意見が挙げられた。
- ◆ 維持管理の効率化に向けた検討のため、実証実験等で得られた人流データ等の共有可能性について、事業者間での意見交換がなされた。

3) テーマ③ (NEC、NTT 西日本)

- ◆ NECに対して、日照条件によるカメラ認識率の低下の詳細や、その解決策についての質問があった。また、複数台のカメラを活用した解析精度向上の可能性についての質問があった。
- ◆ NECに対して、天平祭などの機会に人流解析の技術検証のフィールドとして平城宮跡歴史公園を活用してほしいという意見が挙げられた。

4) その他 (全体に関すること)

- ◆ 公園が健常者や障害者、老若男女が共有する空間であるということ、技術の実用化にあたっての前提条件として検討するようという意見が挙げられた。
- ◆ 来年度の取組として、コンベンションビューローや商工会等の外部関係者を加えたアイデアソンを実施できないかという意見が挙げられた。

4. 会議風景



以上